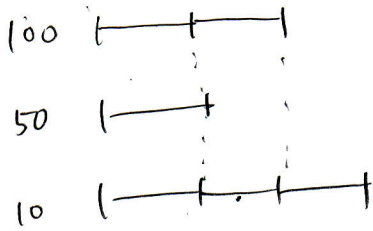


10円硬貨, 50円硬貨, 100円硬貨がそれぞれ何枚かずつあり, そのうちの 円の硬貨を1枚落としてしまったところ, その合計金額は1070円になりました。硬貨を落とす前, 10円硬貨の枚数は50円硬貨の枚数の3倍であり, 100円硬貨の枚数は50円硬貨の枚数の2倍でした。また, この1070円から400円ちょうどを支払う方法は 通りあります。ただし, 1枚も使わない硬貨があってもよいとします。 [芝中]



$$100 \times \textcircled{2} + 50 \times \textcircled{1} + 10 \times \textcircled{3} = \textcircled{280}$$

$$\textcircled{280} \times 4 = \textcircled{1120} \text{円} \text{ ちょうど}$$

今 1070円 ちょうどあるから

$$1120 - 1070 = 50 \text{円}$$

50円を1枚引く

つまり今 100円は $\textcircled{2} \times 4 = 8$ 枚
 50円は $\textcircled{1} \times 4 - 1 = 3$ 枚
 10円は $\textcircled{3} \times 4 = 12$ 枚ある

100	4	3	3	3	2	2
50	0	2	1	0	3	2
10	0	0	5	10	5	10

の 6通り